



宇都宮 ゆり 区政レポート

ご相談はお気軽に 電話 090-1406-7995 メール yuri-utsunomiya@kyoukita.jp

北区新年度予算100億円の歳入増は

積立てではなく

暮らしの支援に

日本共産党・新社会・れいわが予算組み替え提案

3月25日、北区議会第1回定例会、最終本会議で日本共産党、新社会党、れいわ新選組が共同で総額30億円の一般会計予算の組み替えを求める動議を提出しました。



日本共産党北区議員団を代表し、討論に立ちました。この3月から2000品目以上の食品が値上げとなり去年を上回るペースでの物価上昇、お米の値段は5キロで約4000円と約2倍に跳ね上がり、悲鳴が上がっています。

予算審議では、「中学生の息子と2人暮らし。ダブルワークしても家賃が払えず生活が成り立たない」「非正規契約が打ち切られ、収入が激減、家計急変は対象にならず給付金がもらえなかった」「食材の仕入れが3倍になったが、お客さんが離れてしまうので値段は据え置きのまま飲食店を営んでいる」区民の切実な声を紹介。

緊急に北区独自の給付金を課税世帯に扶養されている非課税世帯・家計急変世帯等へ対象を広げる事。区内事業者へは商店街応援の姿勢で直接給付を行う事。

区は、住宅セーフティネット法にもとづく家賃軽減住宅を新年度6戸増やすとしていますが、需要に追いついていないのは明らかです。すでに杉並区が踏み出しているように公営住宅に外れた人や応募資格がない学生、若年単身者などへの家賃補助制度を創設する事。

23区内では、すでに4区が修学旅行や移動教室などの無料化を表明し足立区では当初予算に入っていなかった学用品や標準服などの費用を最終本会議で急きょ補正予算計上するなどの措置が取られています。北区でも、学用品、修学旅行代、標準服代を無償とし経済状況に左右されない教育環境を求めました。

北区の財政は新年度100億円超の歳入増となり、さらに年度末と新年度で80億円を基金に積みます。これを見てもきわめて堅調です。過去最高に積み上がった財調基金の一部の活用で組み替え提案を行う事は十分可能と考えます。

予算組み替え提案は自民・公明・維新などの反対で否決となりましたが、今後も実現をめざします。(宇都宮ゆり)

北区議会 第1回定例会 最終本会議

一般会計予算の組み替えを求める動議

● 北区独自の暮らし応援・物価高騰対策臨時給付金の支給 21億円



- ▷ 扶養のみ世帯に3万円の給付金
- ▷ 課税標準額 100万円以下の納税者、家計急変世帯に3万円の給付金
- ▷ 介護従事者に3万円の給付金
- ▷ 障がい者サービス従事者に3万円の給付金
- ▷ 中小事業者向けの直接支援
- ▷ 施設使用料の引き上げを中止し若者料金を創設

● 住宅支援 5000万円

- ▷ 単身者・学生・非正規雇用・住宅確保要配慮者などへの家賃補助制度の創設

● 教育費の負担軽減 7億3700万円

- ▷ 小中学校の学用品を所得制限なしで全額無償化
- ▷ 小中学校の修学旅行費無償化
- ▷ 中学校・義務教育学校の標準服代無償化

● 国保料の負担軽減 9300万円

- ▷ 18歳までの均等割5割相当給付

財源 228億円に積み上がった財政調整基金のうち

29億8000万円を活用

給付型奨学金制度が実現

若者の奨学金返済を1人あたり100万円支援

党区議団が、議会質問等で要望を重ねてきた給付型奨学金制度。2026年度から区独自の奨学金返済支援が始まることが発表、今年度は対象要件や制度の準備を行うことになりました。

商店街空き店舗活用支援事業 拡充へ

商店街等で起業する方を支援する空き店舗への新たな改修費補助が始まり、家賃補助も拡充となりました。

	補助期間		賃借料		改修費	
	拡充	補助率	上限額	拡充	補助率	新規 上限額
商店街での開業	1年間 → 2年間	1/2	1年目：5万円 → 7万円 2年目：なし → 5万円		2/3	100万円
うち 生鮮三品販売	2年間	2/3	1年目：5万円 → 7万円 2年目：3万円 → 5万円		2/3	200万円
コミュニティビジネスでの開業	2年間	2/3	1年目：5万円 → 7万円 2年目：3万円 → 5万円		2/3	200万円

予算審議では、今年の夏も猛暑が予想されるなか低所得者・高齢者へ1日も早く**エアコンの補助**を行うことを要望。

区の高齢者紙おむつ支給事業は要介護4、5と認定された40歳以上、また要介護3と認定された75歳以上で他区と比べ厳しい条件となっています。制度の改善で必要とする方へ支給するよう求めました。

高齢者補聴器購入補助について、住民税非課税世帯から課税者へも補助対象を広げ所得制限の緩和をし、あわせて助成金の増額を要望しました。都の補助金を活用すれば可能と考えます。

各団体・区民の皆さんから頂いた切実な声を届ける事ができました。引き続き実現へ頑張ります。

(宇都宮ゆり)

北区長・区議会議員の報酬等を上げる条例に 日本共産党は反対しました

先の見えない物価高騰のなか区民生活の現状を考慮すれば、この時期に報酬を上げるべきではないと考えます。条例案は可決されました。

不登校対策が拡充へ

今年度「校内別室」(学校内の教室以外の居場所)が区立中学校全校で行われます。さらに小学校3校で行われていますが、全校で実施することを要望しました。

昨年から校外別室「学びルームありおーそ」事業が王子東児童館、赤羽児童館、田端児童館で行われています。私立小学校に通う児童も対象。

今回新たに家政大学と連携し、区内在住の不登校児童むけに学生がサポートに入る学びの場所が設置。

またバーチャル不登校支援「ステラ」は、約120アカウントを作成、1日に15人程が利用しているとの報告がありました。

この間不登校支援団体の皆さんから切実な要望を頂き予算特別委員会で質疑、拡充され嬉しいです。

せいの恵子前区議とともに桐ヶ丘郷小学校の校内別室「スタンバイルーム」を見学させて頂きました。子どもたちが真剣に机に向かい、ドリルに取り組んでいる様子が印象的でした。



せいの恵子前区議・都議予定候補

区立都の北学園 後期課程卒業式へ

ご卒業おめでとうございます



3月19日、雪の舞う思い出に残る都の北学園 後期課程の第1回卒業式に参列しました。子どもたち一人ひとりが様々な学校生活での日々を思いを馳せているまなざし、クラスメートと一緒に歌う最後の合唱曲。先生や保護者として地域の方々があたたかく見守る卒業式でした。校庭が整備中で使えない中我慢の多い学校生活であったと思います。校庭を整備が進み、児童生徒の皆さんが思いっきり学校生活を送れるようにと願ってやみません。